

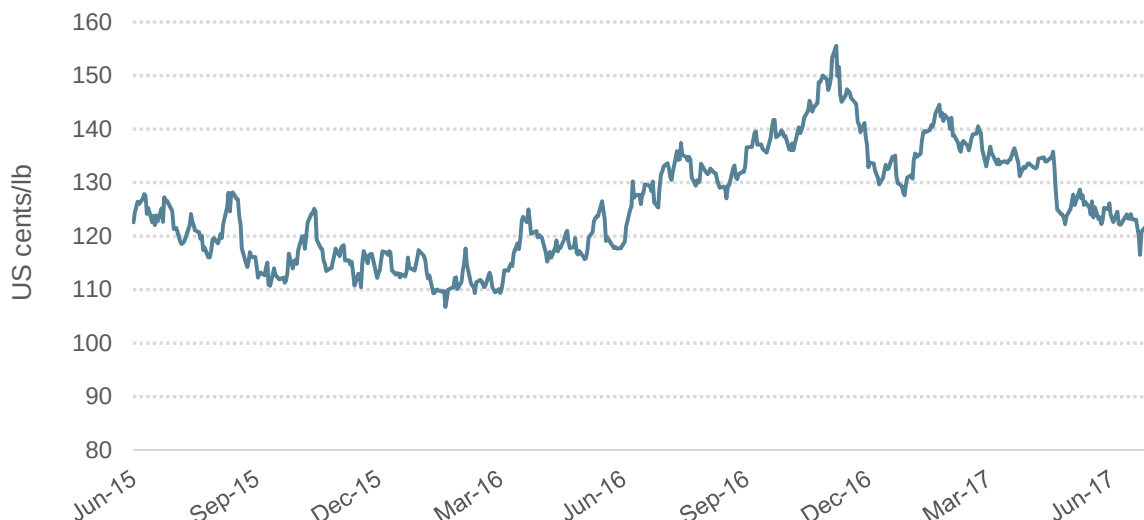
今月はICO6月コーヒーレポートの邦訳及び米国農務省が6月16日に発表した『コーヒー：世界市場及び貿易』、NCAホームページからCNN記事及びコロンビア生産国フォーラム開催（7月11～15日）に関連するアフリカコーヒー生産国機構（IACO）事務局長KAWUMA氏のコーヒー生産国の言い分をお届けします。



アラビカコーヒー価格は一時的に下がったが、ロブスタは堅調だった

今月アラビカコーヒー価格は一時的に急落した後先月水準に回復し、ロブスタコーヒーは上昇して終わる等、コーヒー市場は乱高下した。6月の輸出量は前年同月比8.8%増え10.9百万袋となり輸入国在庫量を押し上げた。ブラジルの降霜が懸念される7月に入るが、コーヒー供給量は十分な状況である。

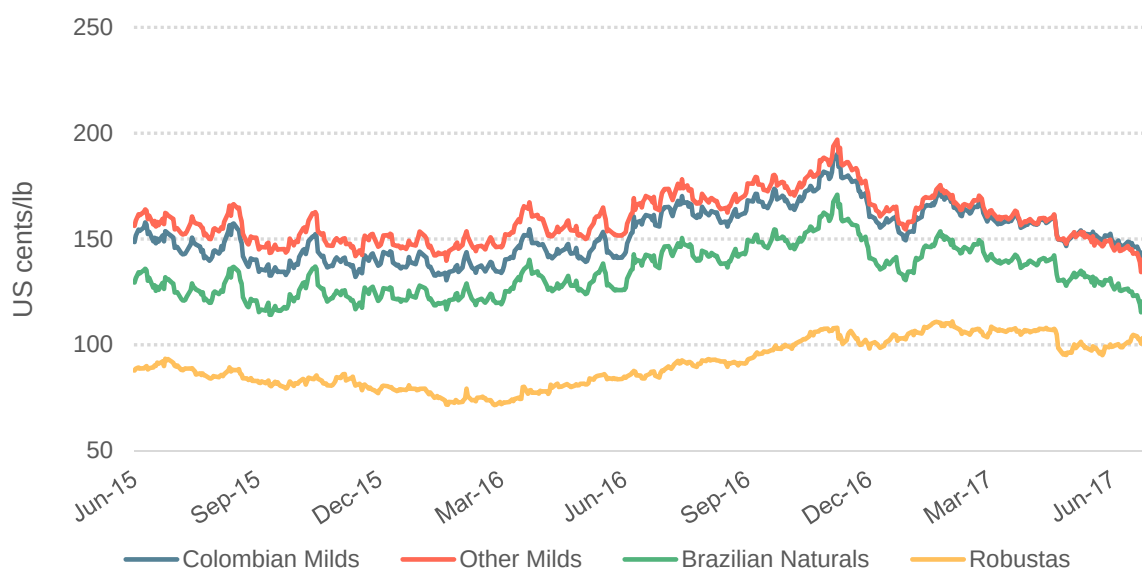
Graph 1: ICO日次複合指標価格



© 2017 International Coffee Organization (www.ico.org)

6月相場の特徴は、高変動率ではあったが、最後は元的水準に戻ったと言い表すことが出来るだろう。即ちICO複合指標価格の6月の月間平均値は2.4%下がり122.39米セント/LBだったが、月初めの価格と月末の価格はほぼ変わらない水準だった。6月の最初の2週間、日次複合指標価格は122.11～124.55米セント/LBの比較的狭い範囲内で動いた。しかしその後価格は大きく下落し、6月22日に複合指標価格は最安値となる116.51米セント/LBまで下落した。しかしその後価格は回復し、下落分を全て取り戻し6月30日には123.83米セント/LBを付け月初に比べると僅かではあるが上回る水準にまで戻した。

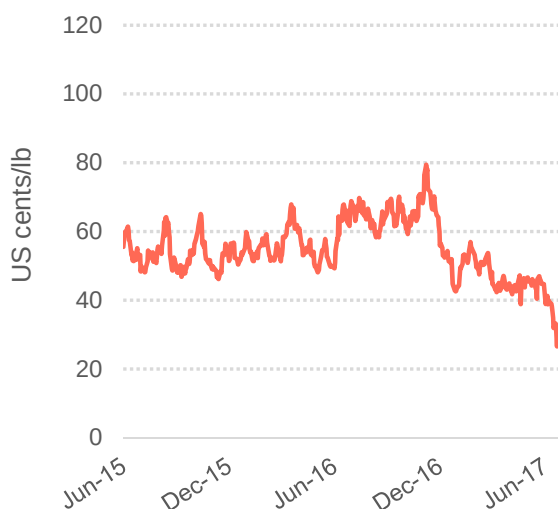
Graph 2: ICO 日次グループ指標価格



© 2017 International Coffee Organization (www.ico.org)

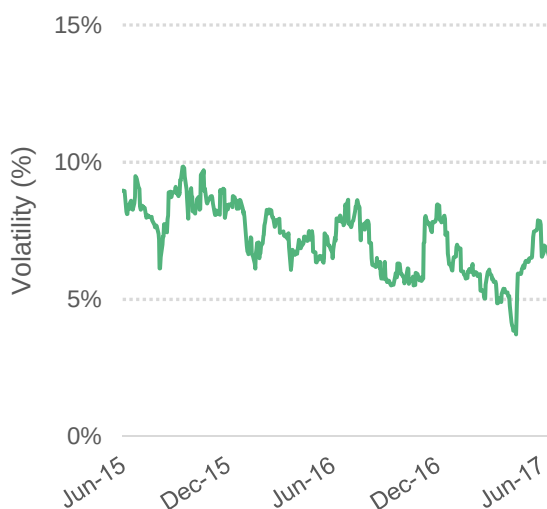
グループ指標の内訳をみると特に6月後半のロブスタ価格の上昇がアラビカ価格の下落幅を補い、複合指標価格の急落を止めたことが解る。ロブスタ価格は、ベトナムのコーヒー輸出量が減少したとの報を受け、前月比+3.6%と大幅に上昇し節目となる100米セント/LBを超えた。一方3アラビカグループは、大きく下げ、コロンビアマイルド、アザーマイルド、ブラジルナチュラルの月間平均価格は夫々、3.5%、4.5%、5.7%下落した。アラビカとロブスタコーヒー価格の正反対の動きを反映し、ニューヨークとロンドン先物市場の差で測られるアービトラージは22.2%と大きく下げ2008年4月以来となる最少値35.07米セント/LBを付けた。一方ICO複合指標価格の日中価格変動率はほぼ変わらずの6.9%だった。

Graph 3: ニューヨークとロンドン先物市場のアービトラージ



© 2017 International Coffee Organization (www.ico.org)

Graph 4: ICO 複合指標価格の30日移動平均価格変動率

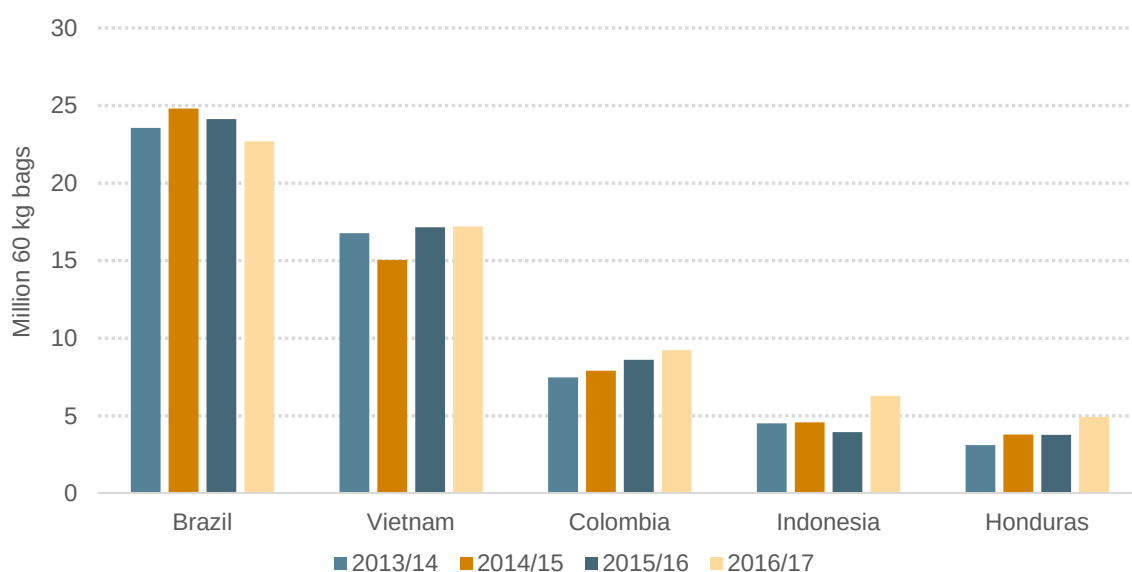


© 2017 International Coffee Organization (www.ico.org)

5月の総輸出量は10.9百万袋となり2016年5月と比べると8.8%増えた。2016/17年度の最初の8か月間の累計輸出量は前年同期間の77.4百万袋に比べると3.9百万袋増加した。ブラジルの2016/17年度の輸出量は、2年連続して減少し前年比5.9%少ない22.7百万袋となった。しかし、輸出量の減少幅は、減産した量の大きさを考えると予想していたより小さかったと言えるが、これは輸出業者が国内在庫を取り崩し輸出に回したことによるものである。更に、ブラジルの輸出減少分はその他の国の輸出の増加で相殺された。即ちコロンビア、エチオピア、インドネシア、ペルー、ウガンダが主に不足分を補填した訳である。

コロンビアコーヒー生産者連合（FNC）の農園更新プログラムが功を奏し、同国は継続してコーヒーを増産しており、前年度（10月～5月）に比べると7.2%増となる9.2百万袋を輸出した。インドネシアは前年に比し2.3百万袋増（+60%）を輸出し、ホンジュラスの輸出量は2015/16年度対比30%増えた。ベトナムの2017年5月の推定輸出量は4月の輸出量2.5百万袋に比べると四分の一以上少ない1.9百万袋となった。レポートによると輸出業者は昨年度の減産の為、産地でコーヒーの売り惜しみ（squeeze）に会っているとのことである。しかし、10月～5月の推定輸出量は17百万袋強であり昨年度とほぼ同じ水準である。

Graph 5: 5大生産国の輸出量 (10月～5月)



© 2017 International Coffee Organization (www.ico.org)

本コーヒー年度のこれまでの輸出量は多く、輸入国の在庫量は積みあがっている為、コーヒーは市場に潤沢にある。6月第3週にコーヒー価格が急落したのは、あるレポートが言っているようにコーヒーとその他ソフトコモディティーに同時に起こった技術的売りオーダーによるものである。

しかし、7月に入るにあたり来年の収穫見通しを変えることになるかもしれないブラジルの降霜リスクが未だ残っていることをリマインドしておきたい。また同様に、ホンジュラスのような生産国には未だサビ病勃発リスクがあり市場に供給懸念を招く可能性も残っているのである。

表 1: ICO 指標価格及び先物価格 (US cents/lb)

	ICO Composite	Colombian Milds	Other Milds	Brazilian Naturals	Robustas	New York*	London*
Monthly averages							
Jun-16	127.05	156.86	165.45	138.38	85.94	139.10	76.87
Jul-16	132.98	164.46	171.76	144.76	90.82	148.16	82.09
Aug-16	131.00	160.78	167.54	141.41	91.79	145.37	83.47
Sep-16	138.22	168.85	176.30	149.80	96.88	154.87	88.63
Oct-16	142.68	172.28	178.96	153.15	103.65	160.07	95.30
Nov-16	145.82	177.85	184.12	157.72	103.72	165.24	95.40
Dec-16	131.70	156.64	161.78	137.14	101.85	143.04	93.66
Jan-17	139.07	164.96	168.61	145.70	108.32	152.24	100.24
Feb-17	137.68	163.67	166.35	145.50	106.49	148.64	98.46
Mar-17	134.07	158.40	160.15	139.67	106.73	143.38	99.01
Apr-17	130.39	154.97	155.40	136.09	103.58	139.25	95.34
May-17	125.40	151.41	150.00	131.21	98.36	135.45	90.35
Jun-17	122.39	146.12	143.22	123.71	101.95	128.18	93.11
% change between Jun-17 and May-17	-2.4%	-3.5%	-4.5%	-5.7%	3.6%	-5.4%	3.0%
価格変動率 (%)							
May-17	6.9%	6.8%	7.0%	7.8%	8.9%	9.2%	9.5%
Jun-17	6.9%	6.7%	7.0%	8.1%	7.3%	9.3%	7.1%
Variation between Jun-17 and May-17	0.0%	0.1%	-0.1%	-0.4%	1.6%	-0.2%	2.4%

* 第2限月及び第3限月の平均値

表 2: 価格差 (US cents/lb)

	Colombian Milds Other Milds	Colombian Milds Brazilian Naturals	Colombian Milds Robustas	Other Milds Brazilian Naturals	Other Milds Robustas	Brazilian Naturals Robustas	New York* London*
Jun-16	-8.59	18.48	70.92	27.07	79.51	52.44	62.23
Jul-16	-7.30	19.70	73.64	27.00	80.94	53.94	66.07
Aug-16	-6.76	19.37	68.99	26.13	75.75	49.62	61.90
Sep-16	-7.45	19.05	71.97	26.50	79.42	52.92	66.24
Oct-16	-6.68	19.13	68.63	25.81	75.31	49.50	64.77
Nov-16	-6.27	20.13	74.13	26.40	80.40	54.00	69.84
Dec-16	-5.14	19.50	54.79	24.64	59.93	35.29	49.38
Jan-17	-3.65	19.26	56.64	22.91	60.29	37.38	52.00
Feb-17	-2.68	18.17	57.18	20.85	59.86	39.01	50.18
Mar-17	-1.75	18.72	51.66	20.48	53.42	32.94	44.37
Apr-17	-0.43	18.88	51.40	19.31	51.82	32.51	43.92
May-17	1.41	20.20	53.05	18.79	51.64	32.85	45.09
Jun-17	2.89	22.41	44.17	19.51	41.28	21.76	35.07
% change between Jun-17 and May-17	105.3%	10.9%	-16.7%	3.8%	-20.1%	-33.7%	-22.2%

* 第2限月と第3限月の平均値

表 3: 世界の需給バランス

Crop year commencing	2013	2014	2015	2016*	% change 2015-16
PRODUCTION	152 130	148 724	151 438	151 624	0.1%
Arabica	90 163	86 151	88 273	95 204	7.9%
Robusta	61 967	62 572	63 165	56 419	-10.7%
Africa	16 243	15 987	16 229	16 353	0.8%
Asia & Oceania	46 461	45 666	48 967	43 110	-12.0%
Mexico & Central America	16 598	17 116	17 291	17 740	2.6%
South America	72 828	69 954	68 951	74 420	7.9%
CONSUMPTION	149 032	151 822	155 712	155 100	-0.4%
Exporting countries	46 109	47 245	48 262	48 337	0.2%
Importing countries (Coffee Years)	102 931	104 577	107 450	106 763	-0.6%
Africa	10 595	10 739	10 745	10 774	0.3%
Asia & Oceania	30 714	32 602	33 665	33 669	0.0%
Mexico & Central America	5 158	5 240	5 311	5 237	-1.4%
Europe	50 169	50 907	51 802	51 544	-0.5%
North America	27 714	27 372	28 875	28 535	-1.2%
South America	24 682	24 962	25 313	25 341	0.1%
BALANCE	3 098	-3 098	-4 274	-3 476	-18.7%

単位：千袋

*推定値

表 4: 輸出国の総輸出量

	May 2016	May 2017	% change	October - May 2015/16	October - May 2016/17	% change
TOTAL	10 002	10 878	8.8%	77 440	81 316	5.0%
Arabicas	6 004	6 915	15.2%	48 362	51 110	5.7%
Colombian Milds	1 010	967	-4.2%	9 540	10 127	6.2%
Other Milds	2 371	2 833	19.5%	14 837	16 798	13.2%
Brazilian Naturals	2 623	3 115	18.7%	23 985	24 185	8.0%
Robustas	3 998	3 963	-0.9%	29 078	30 206	3.9%

単位：千袋

Full trade statistics are available on the ICO website at www.ico.org/trade_statistics.asp

表 5: ニューヨークとロンドン先物市場の認証在庫量

	Jun-16	Jul-16	Aug-16	Sep-16	Oct-16	Nov-16	Dec-16	Jan-17	Feb-17	Mar-17	Apr-17	May-17	Jun-17
New York	1.48	1.45	1.45	1.42	1.44	1.42	1.40	1.45	1.49	1.53	1.58	1.65	1.70
London	2.53	2.45	2.37	2.32	2.28	2.38	2.39	2.73	2.80	2.85	2.87	2.87	2.81

単位：百万袋



United States
Department of
Agriculture

Foreign
Agricultural
Service

June 2017

コーヒー：世界市場及び貿易

2017/18年度見通し概観

2017/18年度の世界コーヒー生産量は、ブラジルが減産予想ではあるがベトナム、メキシコ、インドネシアの増産やその他の殆どの生産国が微増産予想でありブラジルの減産幅を補った形となり、前年度とほぼ変わらずの159百万袋（60 kg）の予想である。同様に世界コーヒー生豆輸出量は堅調を維持し111百万袋と予想する。また世界コーヒー消費量は記録となる158百万袋、期末在庫量は最近5年間で最も低い34百万袋まで減少する見通しである。

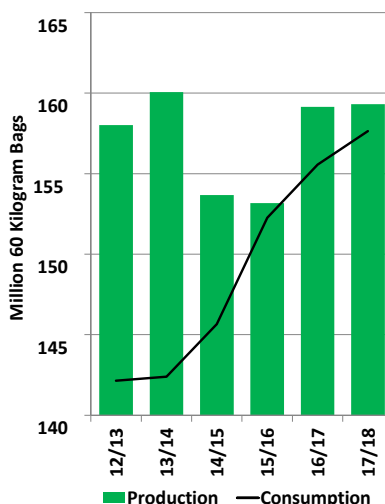
ブラジルのアラビカコーヒー生産量は5.1百万袋減り40.5百万袋の予想である。

アラビカコーヒー主要産地の南ミナスジェライス州とサンパウロ州のコーヒー木は順調に生育したようで、特に剪定など、手入れも良かったようだ。更に適当な降雨が果実の成長・結実を促したようである。しかし今年度は、殆どのコーヒー木が2年生産サイクルの裏年に当たり可能生産量は前年に比べかなり低かったようだ。ロブスタコーヒー生産量は1.1百万袋増え11.6百万袋の予想である。昨年度の生産量はロブスタコーヒー主要産地エスピリトサント州が長期に亘る乾燥気候に見舞われ、平年を上回る高温の影響を受け最近7年間の最低の数値を記録した。この州に於ける水不足は未だ深刻な状況であり灌漑施設への水の供給制限等が継続

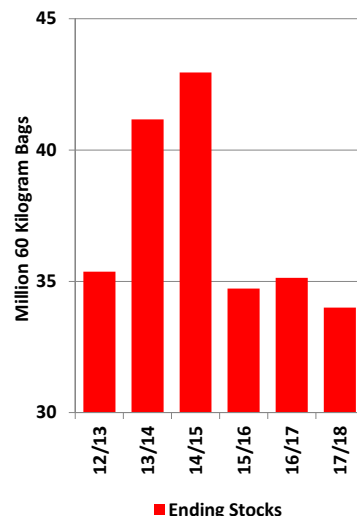
実施されており、可能生産量は40%近く低下しているようである。ブラジル全体の生産量は4.0百万袋減の52.1百万袋の予想となっている。生産量は減るが、表年だったアラビカコーヒーの前年度からの豊富な繰越し在庫のお陰で供給量全体としては1.4百万袋の減少に留まるだろう。主要市場のEUと米国からの需要は堅調な為、輸出量は29.4百万袋と変わらない見通しで期末在庫量は1.5百万袋減り3.9百万袋と予想する。

For email subscription, click here to register: <http://www.fas.usda.gov/data/coffee-world-markets-and-trade>

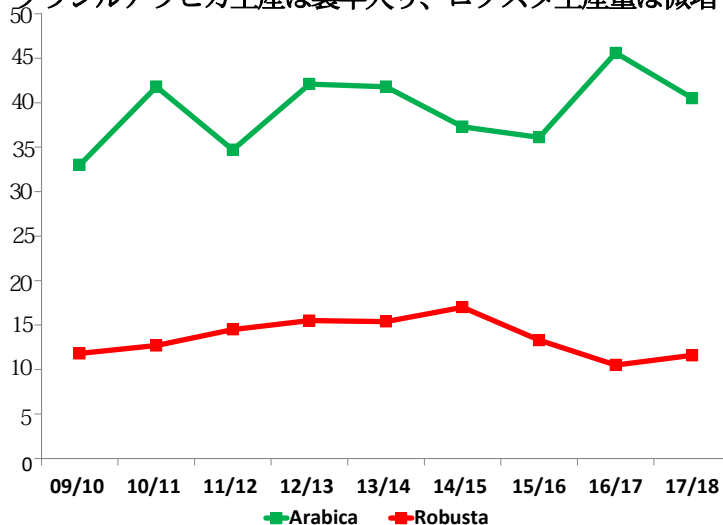
記録的世界消費量対し生産量は低迷



世界の在庫量減少の原因となっている

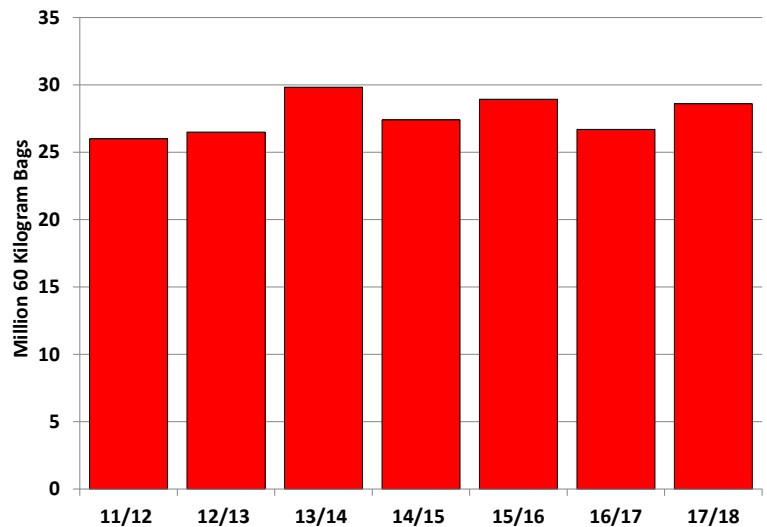


ブラジルアラビカ生産は裏年入り、ロブスタ生産量は微増（単位百万袋）



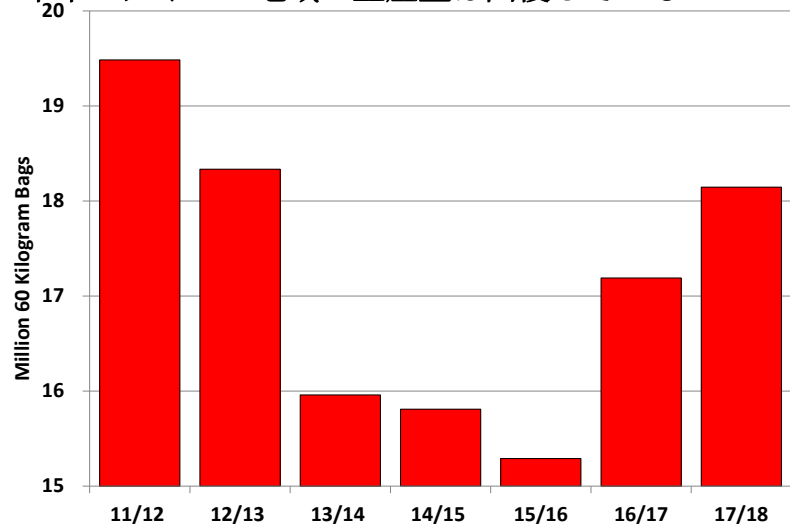
ベトナムの生産量は、2017年1月～3月の豊富な雨量が順調な開花・結実をもたらした1.9百万袋増え28.6百万袋の予想である。コーヒー農家は昨年度のロブスタコーヒー価格高騰の恩恵を受け、生産性改善のために肥料やその他投入財への支出を増やしている。この為、生産量は増えるが昨年度干ばつの影響で繰り越し在庫が少なかったことから供給量全体としては700000袋近く減ることになるだろう。コーヒー生豆輸出量は1.0百万袋減少の24.0百万袋、期末在庫量は変わらずの1.3百万袋の見通しである。

ベトナムの生産量は昨年の干ばつ被害から回復



中米・メキシコ地域の生産量は、5年前サビ病が勃発し大減産となりその影響はこの地域に未だ残っているが、ほぼ1百万袋増え18.1百万袋になる予想である。今年度はホンジュラス、メキシコ、ニカラグアの生産量はほぼ回復しているようだが、エルサルバドル、グアテマラ、コスタリカは未だ低迷している。地域全体の輸出量は700000袋増え15.1百万袋の予想だが、これは主に生産量が増えた国の輸出可能量が増えることによるものである。この地域全体の輸出量の40%は米国向けで、EU向け（35%）が続く。

中米・メキシコ地域の生産量は回復している



コロンビアの生産量は、生育条件に恵まれたため引き続き順調でほぼ横ばいの14.6百万袋の予想である。同国は最近10年間で生産性は30%近く上昇したが、これは主にサビ病耐性のある新品種への植え替えと密植のお陰によるものであり、結果として同国のコーヒー木の平均寿命は15年から7年に若返った。輸出量と期末在庫量は夫々12.3百万袋、1.2百万袋の見通しである。

インドネシアの生産量は、僅かではあるが300000袋増え10.9百万袋の予想である。ロブスタ生産量の凡そ75%が採れる南スマトラ及びジャバ州の低地に於ける生産量が増えることによるもので、開花時期の豪雨による減産が予想される高地の減産幅を上回ることになるだろう。アラビカの生産量は、ほぼ独占的に生産されている北スマトラ州の開花・結実期の気候条件は良好だったようで、ほぼ横ばいを予想している。コーヒー生豆の輸出量は殆ど変わらずの7.3百万袋である。

インドの生産量は、開花・結実期に乾燥気候に見舞われた昨年度に比べ300000袋近く増え5.5百万袋の見通しである。しかし、主要産地であるカルナタカ州、ケララ州、タミル・ナドゥ州で

は降雨量が平年を下回る状況が続いており前年度の最高数値を上回することは出来ない見通しである。水資源省によるとインド南部地域の貯水レベルは全貯蔵可能量の9%しかなく、昨年度の13%を下回る水準にあるとのことである。コーヒー生豆の輸出量は4.0百万袋を予想している。

EUのコーヒー輸入量は世界の40%以上を占めるが、今年度は少し減り46.5百万袋の見通しである。最大輸入先はブラジル（31%）で、ベトナム（24%）、コロンビア（7%）、ホンジュラス（6%）が続く。消費量は若干増え44.8百万袋の予想で、期末在庫量は12.5百万袋である。

米国のコーヒー生豆輸入量は2番目だが、ほぼ変わらずの26.0百万袋の予想である。最大輸入先はブラジル（27%）で、コロンビア（20%）、ベトナム（16%）と続く。消費量は500000袋増え、26.0百万袋の見通しで、期末在庫は7.0百万袋である。

2016/17年度見通しの改定

世界生産量は前回12月見通しに比べ2.5百万袋上方修正し159.1百万袋とする。

- メキシコは3年前に始まったサビ病蔓延から回復し始めているので1.1百万袋上方修正し3.3百万袋とする。
- ホンジュラスは収穫期を迎えたコーヒー農園が予想より増えているので800000袋上方修正し6.3百万袋とする。
- インドネシアは開花・結実期に好天に恵まれたので600000袋上方修正し10.6百万袋とする。

世界コーヒー生豆輸出量は2.0百万袋上方修正し110.7百万袋とする。

- ベトナムは国内在庫の予想以上の減少に鑑み1.5百万袋上方修正し25.0百万袋とする。
- ホンジュラスは米国とEUからの需要が予想より増えているので1.0百万袋上方修正し6.1百万袋とする。
- インドネシアは輸出可能数量が増えることから700000袋上方修正し7.2百万袋とする。
- ブラジルは輸出業者の在庫積み増しを考慮し1.6百万袋下方修正し29.4百万袋とする。

生産国のコーヒー年度

April-March

Angola
Bolivia
Burundi
Ecuador
Indonesia
Madagascar
Papua New Guinea
Peru
Rwanda

July-June

Brazil
Cuba
Dominican Republic
Haiti
Philippines
Tanzania

October-September

Cameroon
Central African Republic
Colombia
Congo (Kinshasa)
Costa Rica
Cote d'Ivoire
El Salvador
Ethiopia
Ghana
Guatemala
Guinea
Honduras
India
Jamaica
Kenya
Laos
Liberia
Malawi
Malaysia
Mexico
Nicaragua
Nigeria
Panama
Sierra Leone
Thailand
Togo
Uganda
United States
Venezuela
Vietnam
Yemen

非生産国のコーヒー年度は10月－9月である。

コーヒー総括
単位：千袋（60-Kilogram）

	2012/13	2013/14	2014/15	2015/16	2016/17	Jun 2017/18
Arabica Production						
Brazil	42,100	41,800	37,300	36,100	45,600	40,500
Colombia	9,927	12,075	13,300	14,000	14,500	14,600
Ethiopia	6,500	6,345	6,475	6,510	6,520	6,545
Honduras	4,725	4,400	5,100	5,300	6,300	6,500
Peru	4,300	4,250	2,900	3,500	4,225	4,500
Mexico	4,450	3,750	2,980	2,125	3,100	3,600
Guatemala	4,000	3,500	3,125	3,125	3,000	2,900
Nicaragua	1,925	2,000	2,100	2,100	2,400	2,500
China	1,535	1,947	1,975	2,100	2,200	2,200
Costa Rica	1,675	1,450	1,400	1,625	1,300	1,550
India	1,643	1,703	1,630	1,725	1,420	1,480
Indonesia	2,000	1,900	1,270	1,500	1,300	1,300
Vietnam	900	1,175	1,050	1,100	1,100	1,100
Papua New Guinea	775	815	760	700	1,000	900
Kenya	660	850	750	750	700	750
Other	5,757	4,505	4,343	4,286	4,128	4,310
Total	92,872	92,465	86,458	86,546	98,793	95,235
Robusta Production						
Vietnam	25,600	28,658	26,350	27,830	25,600	27,500
Brazil	15,500	15,400	17,000	13,300	10,500	11,600
Indonesia	9,900	10,000	9,200	10,600	9,300	9,600
India	3,660	3,372	3,810	4,075	3,750	3,970
Uganda	2,800	3,000	2,800	2,900	3,500	3,600
Malaysia	1,400	1,500	2,100	2,200	2,100	2,100
Cote d'Ivoire	1,750	1,675	1,400	1,600	1,450	1,500
Thailand	1,000	1,000	1,000	700	800	700
Cameroon	485	375	525	575	525	550
Tanzania	570	350	550	500	500	550
Other	2,481	2,264	2,481	2,340	2,326	2,407
Total	65,146	67,594	67,216	66,620	60,351	64,077
Production						
Brazil	57,600	57,200	54,300	49,400	56,100	52,100
Vietnam	26,500	29,833	27,400	28,930	26,700	28,600
Colombia	9,927	12,075	13,300	14,000	14,500	14,600
Indonesia	11,900	11,900	10,470	12,100	10,600	10,900
Ethiopia	6,500	6,345	6,475	6,510	6,520	6,545
Honduras	4,725	4,400	5,100	5,300	6,300	6,500
India	5,303	5,075	5,440	5,800	5,170	5,450
Peru	4,300	4,250	2,900	3,500	4,225	4,500
Uganda	3,600	3,850	3,550	3,650	4,200	4,350
Mexico	4,650	3,950	3,180	2,300	3,300	3,800
Guatemala	4,010	3,515	3,185	3,295	3,170	3,100
Nicaragua	1,925	2,000	2,125	2,125	2,425	2,525
China	1,535	1,947	1,975	2,100	2,200	2,200
Malaysia	1,400	1,500	2,100	2,200	2,100	2,100
Costa Rica	1,675	1,450	1,400	1,625	1,300	1,550
Cote d'Ivoire	1,750	1,675	1,400	1,600	1,450	1,500
Tanzania	1,180	800	1,150	1,100	1,050	1,150
Papua New Guinea	825	855	810	750	1,050	950
Kenya	660	850	750	750	700	750
Thailand	1,000	1,000	1,000	700	800	700
Cameroon	535	425	575	625	575	600
El Salvador	1,250	550	700	560	600	575
Venezuela	730	700	460	500	530	575
Laos	460	475	475	475	450	475
Philippines	455	450	475	425	475	450
Other	3,623	2,989	2,979	2,846	2,654	2,767
Total	158,018	160,059	153,674	153,166	159,144	159,312

生産国のコーヒー年度は10月（例えばColombia）、4月（Indonesia）若しくは7月（Brazil）に始まる。一方、非生産国のコーヒー年度は10月に開始される。国別詳細データを知りたい場合には次のアドレスにアクセス願ひ度。 <http://apps.fas.usda.gov/psdonline/psdQuery.aspx>

コーヒー総括（２）
単位：千袋（60-Kilogram）

	2012/13	2013/14	2014/15	2015/16	2016/17	Jun 2017/18
Bean Exports						
Brazil	27,143	30,600	33,051	31,870	29,400	29,400
Vietnam	23,783	27,269	19,791	26,950	25,000	24,000
Colombia	8,100	10,300	11,615	11,490	12,250	12,250
Indonesia	8,290	8,540	6,770	7,938	7,200	7,300
Honduras	4,480	3,940	4,760	5,000	6,125	6,300
Peru	4,100	4,100	2,750	3,300	4,025	4,300
Uganda	3,575	3,600	3,400	3,500	4,000	4,000
India	3,420	3,330	3,358	4,063	4,000	3,960
Ethiopia	3,500	3,285	3,500	3,405	3,300	3,310
Guatemala	3,750	3,150	3,050	3,040	2,900	2,800
Other	14,852	11,895	11,697	12,377	12,467	13,225
Total	104,993	110,009	103,742	112,933	110,667	110,845
Roast and Ground Exports						
European Union	1,070	1,185	1,220	1,260	1,300	1,300
Switzerland	810	890	975	1,040	1,100	1,000
Vietnam	110	120	457	550	550	550
Mexico	126	105	175	200	200	200
China	54	81	57	56	105	100
United States	365	580	380	60	100	100
Colombia	85	80	90	90	90	90
Indonesia	35	40	50	48	40	50
Panama	15	29	42	41	45	40
Brazil	31	30	28	28	30	30
Other	29	80	46	30	36	38
Total	2,730	3,220	3,520	3,403	3,596	3,498
Soluble Exports						
Brazil	3,486	3,516	3,494	3,645	3,600	3,600
Malaysia	2,150	2,110	2,775	2,975	3,300	3,500
Vietnam	750	900	1,282	2,000	2,000	2,100
India	1,435	1,667	1,525	1,625	1,535	1,583
Mexico	915	940	860	840	950	950
Colombia	670	660	715	800	825	850
Indonesia	2,000	1,800	1,900	1,910	800	850
Thailand	1,700	2,100	1,975	960	800	700
China	178	252	440	632	530	600
Ecuador	1,075	810	760	740	484	410
Other	765	898	660	929	940	840
Total	15,124	15,653	16,386	17,056	15,764	15,983
Exports						
Brazil	30,660	34,146	36,573	35,543	33,030	33,030
Vietnam	24,643	28,289	21,530	29,500	27,550	26,650
Colombia	8,855	11,040	12,420	12,380	13,165	13,190
Indonesia	10,325	10,380	8,720	9,896	8,040	8,200
Honduras	4,480	3,940	4,760	5,000	6,125	6,300
India	4,858	5,013	4,894	5,693	5,540	5,550
Peru	4,100	4,100	2,750	3,300	4,025	4,300
Uganda	3,575	3,600	3,400	3,500	4,000	4,000
Malaysia	2,150	2,110	2,775	2,975	3,300	3,500
Ethiopia	3,500	3,285	3,500	3,405	3,300	3,310
Other	25,701	22,979	22,326	22,200	21,952	22,296
Total	122,847	128,882	123,648	133,392	130,027	130,326

生産国のコーヒー年度は10月（例えばColombia）、4月（Indonesia）若しくは7月（Brazil）に始まる。一方、非生産国のコーヒー年度は10月に開始される。レギュラーコーヒーの生豆換算率は1.19倍である。ソリュブルコーヒーの生豆換算率は2.6倍である。非生産国については2重計上を避ける為、輸入と輸出の貿易バランスを使用した。

コーヒー総括（３）
単位：千袋（60-Kilogram）

	2012/13	2013/14	2014/15	2015/16	2016/17	Jun 2017/18
Bean Imports						
European Union	45,070	44,650	45,140	45,900	46,700	46,500
United States	23,360	24,550	23,525	25,100	25,800	26,000
Japan	7,520	6,890	7,185	7,280	7,350	7,500
Canada	2,330	2,525	2,450	2,800	2,950	3,000
Russia	2,050	2,280	2,240	2,430	2,600	2,700
Switzerland	2,310	2,300	2,420	2,460	2,600	2,700
Korea, South	1,715	2,035	2,150	2,280	2,400	2,500
Algeria	1,915	2,265	2,165	2,275	2,300	2,325
Malaysia	1,375	1,270	1,340	1,440	1,900	2,100
Australia	1,180	1,185	1,310	1,425	1,375	1,350
Other	13,252	12,665	12,592	13,503	12,445	12,165
Total	102,077	102,615	102,517	106,893	108,420	108,840
Roast and Ground Imports						
China	79	93	141	460	795	800
Canada	675	730	765	375	400	425
Vietnam	22	12	10	20	340	400
Russia	180	215	260	315	325	350
Ukraine	340	340	275	250	250	275
Korea, South	110	125	155	185	190	200
Australia	170	180	190	155	175	180
Japan	135	140	110	105	115	120
Norway	110	110	120	130	125	120
Taiwan	55	50	70	95	90	100
Other	310	394	443	293	287	301
Total	2,186	2,389	2,539	2,383	3,092	3,271
Soluble Imports						
Philippines	3,400	2,985	3,570	5,500	6,000	6,000
Russia	1,900	1,735	1,550	1,650	1,550	1,600
China	552	679	858	1,615	1,510	1,500
Canada	1,225	1,350	1,280	1,370	1,350	1,350
Japan	750	840	815	810	875	900
Ukraine	785	690	570	470	500	500
Indonesia	630	555	720	644	430	400
Iran	160	140	80	210	300	300
United States	340	365	480	110	250	300
Argentina	260	260	250	265	260	260
Other	2,320	2,408	2,185	2,342	2,318	2,304
Total	12,322	12,007	12,358	14,986	15,343	15,414
Imports						
European Union	45,070	44,650	45,140	45,900	46,700	46,500
United States	23,700	24,915	24,005	25,210	26,050	26,300
Japan	8,405	7,870	8,110	8,195	8,340	8,520
Philippines	3,880	3,145	3,755	6,185	6,600	6,500
Canada	4,230	4,605	4,495	4,545	4,700	4,775
Russia	4,130	4,230	4,050	4,395	4,475	4,650
China	1,561	1,682	1,889	2,938	3,005	3,100
Korea, South	1,825	2,160	2,305	2,465	2,590	2,700
Switzerland	2,310	2,300	2,420	2,460	2,600	2,700
Algeria	1,945	2,300	2,195	2,320	2,335	2,365
Other	19,529	19,154	19,050	19,649	19,460	19,415
Total	116,585	117,011	117,414	124,262	126,855	127,525

生産国のコーヒー年度は10月（例えばColombia）、4月（Indonesia）若しくは7月（Brazil）に始まる。一方、非生産国のコーヒー年度は10月に開始される。レギュラーコーヒーの生豆換算率は1.19倍である。ソリュブルコーヒーの生豆換算率は2.6倍である。非生産国については2重計上を避ける為、輸入と輸出の貿易バランスを使用した。

コーヒー総括 (4)
単位：千袋 (60-Kilogram)

	2012/13	2013/14	2014/15	2015/16	2016/17	Jun 2017/18
Domestic Consumption						
European Union	43,275	41,475	43,870	44,200	44,500	44,800
United States	23,027	23,811	23,578	25,114	25,499	25,950
Brazil	20,110	20,210	20,420	20,450	20,500	20,660
Japan	7,565	7,750	7,860	8,060	8,325	8,420
Philippines	4,405	3,590	4,230	6,210	7,175	6,950
Canada	4,230	4,605	4,495	4,545	4,700	4,775
Russia	4,130	4,230	4,050	4,395	4,475	4,650
Indonesia	2,815	2,540	2,900	3,175	3,320	3,400
Ethiopia	3,130	3,120	2,985	3,110	3,220	3,240
China	1,628	2,181	2,416	3,018	3,155	3,215
Vietnam	1,825	2,008	2,217	2,630	2,770	2,880
Korea, South	1,825	2,160	2,305	2,465	2,590	2,700
Mexico	2,170	2,731	2,339	2,325	2,375	2,400
Algeria	1,945	2,300	2,195	2,320	2,335	2,365
Australia	1,660	1,615	1,775	1,785	1,725	1,710
Switzerland	1,500	1,410	1,445	1,420	1,500	1,700
Colombia	1,200	1,300	1,400	1,425	1,600	1,650
India	1,100	1,170	1,191	1,250	1,200	1,215
Venezuela	1,290	1,170	1,151	1,151	1,111	1,215
Ukraine	1,255	1,155	1,025	945	1,025	1,075
Turkey	490	505	675	710	790	825
Norway	740	775	775	785	790	800
Argentina	835	685	710	741	730	725
Serbia	740	790	605	645	725	725
Malaysia	625	660	665	665	700	700
Other	8,624	8,443	8,373	8,728	8,723	8,902
Total	142,139	142,389	145,650	152,267	155,558	157,647
Ending Stocks						
European Union	10,845	12,400	12,225	12,100	12,500	12,500
United States	5,450	6,025	6,117	6,199	6,700	7,000
Brazil	9,068	11,946	9,305	2,777	5,411	3,886
Japan	2,980	3,100	3,350	3,485	3,500	3,600
India	1,982	2,026	2,586	2,645	2,275	2,205
Vietnam	1,946	2,130	6,373	3,803	1,183	1,313
Colombia	771	961	671	1,131	1,236	1,196
Philippines	95	100	100	500	400	400
Tanzania	255	202	322	250	220	290
Ecuador	309	410	400	210	237	261
Other	1,664	1,864	1,505	1,623	1,475	1,350
Total	35,365	41,164	42,954	34,723	35,137	34,001

生産国のコーヒー年度は10月 (例えばColombia), 4月 (Indonesia) 若しくは7月 (Brazil)に始まる。一方、非生産国のコーヒー年度は10月に開始される。

ートピックス（2）ー

気候変動であなたのコーヒーの味は悪くなるかもしれない

Nancy Coleman, CNN 2017年6月21日

気候変動は人々にどんな心配事をもたらすことになるだろう？それは人によってはモーニングコーヒーの味が悪くなることかもしれない。

最近発表された研究によると、世界で5番目のコーヒー生産国、エチオピアでは今世紀末までに気候変動によりコーヒー生産可能面積が最大60%失われることになるとのことである。

今週月曜日（6月19日）雑誌『Nature Plants』に発表された記事によると、気候変動（少雨・高温）は同国のコーヒー生産地域に深刻な被害を及ぼすことになるようである。

気温が確実に上昇するなかで愛飲家によるコーヒー需要は増えているが、今まで飲んでいるようなおいしいコーヒーは飲めなくなるかもしれないとのことである。

コーヒー消費者にとって気候変動は何を意味するのだろうか

世界コーヒー研究所（WCR: World Coffee Research）のレポートによると、2050年までにコーヒー需要は倍増するが、コーヒー生産可能面積は半減するとのことである。また気候変動の影響は、コーヒーの生産量を減少させるだけではなく、品質にも影響するとのことである。

WCRのHanna Neuschwander 女史は『一般的に気温が低いところの方がコーヒーの品質は良い』と言っている。

気温が低い環境ではコーヒーがゆっくり熟成されるとのことであり、酸味や甘味等のより複雑なフレーバー要素は時間をかけて醸成されてゆくのである。一方、気温が高い環境では、熟成期間が短くなるので、長年エチオピアでゆっくりと醸成されてきた香り豊かなコーヒー生豆とは違ったものになるというのである。

消費者がまず経験するのは品質の変化である。即ち彼女によると『コーヒーの生産適地が減るということは理論的には生産量が減少するということだが、これが必ずしも価格上昇に繋がるとは言えないかもしれない』と。即ち、例えばエチオピア一国で生産量が減ったとしても、ブラジルやベトナム等その他の主要コーヒー生産国の価格が下がれば、価格が下がることもあり得るというのである。彼女によるとコモディティー市場は一筋縄ではいかない市場であり、消費者に直接的な影響が出るまでには時間がかかるとのことである。

エチオピア経済にとって気候変動は何を意味するのだろうか

コーヒー愛飲家にとってコーヒー価格は変わらないかもしれないが、エチオピア経済に与える影響は甚大である。エチオピアの全輸出金額の四分の一はアラビカコーヒーが占

めている。全人口の16%、15百万人はコーヒー生産で生計を立てている。彼女によるとコーヒー生産者の収入は十分ではないので、農家が気候変動や極端な天候異変のような変化を受容するのは非常に難しいことであると。

エチオピアの自然環境はどうなっているのだろう

エチオピアの農民は、熱帯夜になる頻度が多いこと、雨季が短いこと、降雨パターンが不規則になっていること、極端な天候異変などの気候変化がコーヒー生産に影響を及ぼしていることをよく解っている。

またそれを裏付ける科学的根拠も存在する。『Nature Plants』誌の記事によると多くのコーヒー生産地で高温を記録する日が増えていることが紹介されている。

目に見える変化に加えて、エチオピアの年間平均気温は1960年から2006年の間に1.3℃上昇している。10年単位だと平均0.28℃の上昇率であり、この上昇率が続くと2060年台にはさらに3.1℃上昇することになるだろう。

エチオピアでは降雨量にも大きな変化が起こっている。1970年台中旬以降、エチオピア南部の降雨量は15～20%減少しており、最近10～15年間は全国的に干ばつがより常態化している。

これらはエチオピアコーヒー愛飲家にとってそれほど大したニュースではないかもしれない、それは結果的に消費者が他生産国のコーヒーを飲むようになっているかもしれないからである。

以上

—トピックス（3）—

コーヒーバリューチェーンに横たわる問題への生産国側の見方

NCA、2017年6月28日

NCA 編集者注釈：来月、メデリンで開催される世界コーヒー生産国会議（World Coffee Producers Forum）には世界コーヒー産業の関係者が集まり、持続可能性、労働力問題、価格変動リスク管理、生産性改善等を含みどうすればコーヒー生産力を強化出来るかについて話しあう。このコラムではアフリカコーヒー生産国機構（Inter African Coffee Organization）の事務局長 Frederic Kawuma 氏が同会議での討議のたたき台として生産国サイドの意見を投稿してきたのでご紹介する。

IACO 事務局長 Frederic Kawuma

最近コーヒー農家の収入について研究・分析された文献が多く見られるようになった。これらからまず明らかになったことはコーヒー農家の収入は、国や地域など、どこで調査されたかによって違うということである。次に明らかになったのは、農家の収入は彼らがコーヒーを販売した『市場』により異なるということである。

だとしたら『市場』とは何なのだろう。『Investopedia』によると市場とは：

1. 特定の商品やサービスを売り手と買い手が簡単に交換できるようにする為に相互作用する中間媒体である。このタイプの市場にはバザーやショッピングセンターのように人々が商品とサービスを交換する為に実際に集まる現物市場 (physical marketplace) とオンライン市場のように売り手と買い手が直接関わらない仮想市場 (virtual market) がある。
2. 資産 (Securities) もしくは物品 (commodities) が取引される一般的な市場である。この言葉には特定の有価証券市場も含まれ個人間やオンライン上で行われる。
3. 特定の製品やサービスを買いたいという欲求とそれを買う能力を持った人々のことである。

コーヒー農家にとって市場とは究極的には商品の対価として彼らが受け取る価格を意味する。価格を提示 (offer) するのは国際トレーダーだったり、ロースターだったりすることもあるが、一般的には組織された取引所 (organized exchange) や地方のブローカーなど仲介業者からオファーされることが多い。

経済原理によると、商品の価格は需要と供給で決まる。コーヒーに於いては、アラビカコーヒーとロブスタコーヒーの世界需給を反映する代替手段として、夫々ICE ニューヨーク ‘C’ コントラクトとロンドンロブスタコントラクトが存在する。しかし両市場は主に金融手段として活用されるもので特定のコーヒーが取引されている訳ではない。これらの金融手段は価格リスクを避ける目的でプロのコーヒー関係者 (コーヒー生産者の中にも利用している人はいる) が利用するが、安く買い高く売ることによって利ザヤを稼ぐプロの投資家も利用する。

例えば、ICE ニューヨーク先物市場に於ける 2016 年の取引契約数は (この数字にはオプション契約もロブスタ契約も含まれていない)、9,856,314 契約だった。1 契約の単位数量は約 250 袋なので数量は 2,464,078,500 袋となり、世界のコーヒー総生産量 155 百万袋の約 16 倍の数字に昇る。

これらの金融手段としての市場を我々のコーヒーの需給を表すものとしてどのように位置づけたらいいのだろうか。我々のコーヒーの価格を決める代替手段として継続的に使ってもいいのだろうか。

生産者は、入手可能な情報に頼るしかない。過去に遡ると大昔は、暗号電信に頼っていた

が、その後はテレックスになり、そして直通電話になった。今では AIM/AOL 等のインターネット、スカイプ、ワッツアップ (WhatsApp) 等なんでもあり瞬時に情報入手が可能である。

昔はビッドを出し返事をもらうまでに何日もかかり、コーヒー農園から郵便局までの距離が遠い場合 1 週間かかることもあった。今や情報のみならずデマ情報まで絶え間なく流れている時代である。

しかし、我々が知っている唯一確かな情報は、コーヒー取引はここまで大きくなり今後も継続的に拡大するが、多くのコーヒー生産者が得ている収入は 40 年前と同じ水準だということである。

最近全米コーヒー協会 (N C A) が発表した同国コーヒー経済規模調査には次のような記事が出ていた。

- ・ 2015 年の米国に於けるコーヒー産業の経済規模は 2252 億米ドルである。
- ・ コーヒー関連の経済活動は米国国内総生産の約 1.6% を占める。
- ・ 2015 年コーヒー消費者は 742 億ドルを使った。
- ・ 米国コーヒー産業が雇用した労働者数は 1,694,710 人である
- ・ コーヒー産業（関連産業を含む）が収めた税金は、280 億米ドルである。

そして、国際コーヒー機関 (I C O) の 2014 年の調査 (IC0 ICC 111-5 Rev.1 2014 年 2 月 14 日) によると：

- ・ 2012 年の輸出国と輸入国の合計コーヒー消費金額は 1734 億米ドルである。
- ・ 2000 年から 2012 年の間の、コーヒー生産者の理論的総収入金額は 116 億米ドル（年間平均生産量 121.8 百万袋に対して）である。

生産者の見方からすると、生産者の収入がもう少し増えてもよいのではないと思われる。

即ちコーヒーを生産するという行為は全ての関係者に利益をもたらす行為だからである。

さもないければ、コーヒー生産を継続できる農家が徐々に減り、我々の子供たちは経済的に未来が約束された緑豊かな牧草地に移住してしまうことになるだろう。

生産国の農家の生活を支援する為にコーヒー産業が一緒になって何かできないだろうか。

以上